

Study



ポリミキャンパスライフのはじまり

#履修登録 #オンライン授業 #bovisacampus #leonardocampus

ミラノ工科大学に来ていちばん最初に驚くのが、想像を超える人の多さ、キャンパスの広さです。デザインの学生だけで4000人、私の所属するデザインアンドエンジニアリングには一学年100人の学生がいます。bovisaキャンパスとleonardoキャンパスの両方で授業があるので、両方ともに通っています。二つのキャンパスは雰囲気が違い、一つは田舎にあり、広い倉庫を改築したような建物と工房が並ぶ大きいキャンパス、もう一つは、市内にあり、歴史ある建物が狭いスペースにパズルのように並んだキャンパスです。どちらのキャンパスも自習室や広場にいつでもたくさんの学生がいて、賑やかで暖かいキャンパスです。しかし、ポリミの学生は固定のコミュニティと行動を共にする人か一人で行動する人が多

いため、オンライン授業から対面授業にシフトした初めの一週は、誰とも喋れず帰ってしまうということもありました。新型コロナウイルスの関係で、履修登録、ウェルカムウィークはオンラインで実施しました。交換留学生の履修登録の場合、必修の科目はなく、他コースも含めて、自由に選択ができます。履修登録で注意すべきことは、早い者勝ちということです。登録できる授業が次々に減っていきます。私が登録しようとした締め切り1週間前の時点で、半分くらいの授業が取れない状態でした。幸運なことに、とりたいと思っていた授業はほとんど残っていたため、よかったです。多めに登録して、修正期間で調整するのは千葉大と同じでした。

オンライン授業は、かなり不安多めでスタートしましたが、聞き取りやすさや資料の見やすさ、翻訳の調べやすさは、オンラインの方がやりやすいです。ポリミはオンラインのシステムがしっかりしているため、ハイブリット授業で不具合が起こることはほとんどありませんでした。不便な事の方が多いですが、オンラインでも、留学気分を味わえるものだなと思いました。ちなみに、ポリミは、オンラインでも授業に参加できますが、基本的にみんな対面で、コロナ前と同じように授業を受けています。

ポリミデザイン 3つの授業

development design studio #advanced user interfaces #history of design

交換留学生は、自分のコース以外の授業も自由にとることができます。私の場合、自分のコースのメイン studio 授業 1つと他コースの授業を 2つ受講しています。受講している 3つともグループワークです。授業スタイルは studio は 1日 8時間の授業で、他の 2つは基本的に 3-4 時間のため、長い授業時間に慣れる必要があります。

development design studio は、プロダクト創る時の考え方と実際に形にする技術を一通りじっくり学べます。午前は考え方です。デスクライトを題材に、フォルム・使い方・技術(材料)の 3つの観点について、それぞれ 2週間ずつグループで討論し分析します。先生が一方的に教える授業ではなく、自分のたちの力で分析した後に、先生がグループごとにレビューするため、実践的に考え方がしっかり身につく、役に立つ授業です。午後は、solidworks という 3D ソフトを使う授業で、毎回の授業で一つのプロダクトを 3D にモデリングします。千葉大がよく使う Fusion とは違い、より工業的な設計図に使うソフトなので、細かい作業になりかなり苦戦しています。随時教えてくれる優しい友達に助けをもらいながら、なんとかついて行っています。

advanced user interfaces の授業は、エンジニアコースの授業で、受講する 3分の 2はエンジニアの学生です。AR,VR,MR やスマートオブジェクトなどの事例や仕組みを座学で学び、今はプロジェクトに参加し、実践段階に入っています。エンジニアの学生とグループになり、新しいユーザーインターフェイスをデザインし実装までします。私が参加しているプロジェクトは、言語発達障害を持つ人のための MR デバイスのインターフェイスの表現の模索です。ホロレンズを使ったリズムゲームのようなものを作っています。プロジェクトの進め方で驚いたのが、ニーズやコンセプト設計にかかる時間が短く、表現方法の模索と実装の段階に時間をかけることです。リサーチやコンセプトに力を入れてきた日本の授業とは真逆で、実際の創作段階のアイデア出しが鍛えられる授業だと思いました。プロジェクトの進め方やホロレンズのインターフェイス 表現の模索は、私にとって新しく興味深い授業です。

history of design は、polimi のデザイン学生の特に留学生であればみんな知っているような人気の授業のようです。ミラノや郊外に実際に足を運び先生が解説して回ります。santa maria delle grazie という「最後の晩餐」が

あることで有名な教会や、有名人のお墓がある cimitero monumentale に訪れ、建築様式やそこでの歴史について知ることができます。



休み時間の Caffe



ポリミの授業は一つが長いため、何度か休み時間を挟みます。その時の楽しみが、校舎内いたる所に設置されたコーヒーマシンのコーヒーを飲む事です。人気のメニューは Caffe/Cappuccino/Espresso/Macchiato 一杯 0.6€~0.8€。毎回の休憩で飲む人もいたので授業机の上に小さいコーヒーカップが 3つ 4つ積んであるのもイタリアの大学らしい光景です。私もここにきて一ヶ月カプチーノをほぼ毎日欠かさず飲んでいました。

Life



ミラノの生活〈食・住〉と私のルームメイト

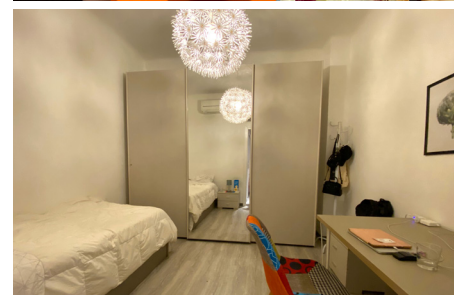
#ルームメイト #spotahome 部屋探し #料理の振る舞いあい

部屋探しとルームメイトを紹介します。イタリアの留学を決めた時に、必要な手続きはビザの申請、保険登録、住居探し、奨学金申請、航空券予約、PCR検査予約などたくさんありますが、どれよりも一番先にやるべきなのが、住居探しです。探し始めたのが渡航一ヶ月前ということもあり、渡航前2週間にギリギリ決まり、かなり苦戦しました。ミラノで部屋を借りると男女混合シェアハウスが基本スタイルです。女性限定に絞ると一気に選択肢が狭まります。学校に近いという条件を諦めた結果見つけることができました。世界の留学生向けのサイトでuniplaces、housing anywhereが有名ですが、polimiが提携しているspotahomeは、条件の設定が細かくできて物件も多く、おすすめです。ちなみに個室ありのシェアハウス

だと500~700€、部屋をシェアすると300€~500€くらいでミラノはやはり高めだと個人的に感じました。

ルームメイトはpolimiの建築学生で半年間交換留学しているセルビア人の女の子です。千葉大での寮生活と比べると、ルームメイトとの距離が近く、留学生活の充実度に大きく関わる存在だと思いました。買い物と一緒にいき、夜ご飯は変わりばんこで自国の料理を振る舞います。写真はセルビアの料理とお酒を振る舞ってくれた時の写真です。私は、日本料理と中華料理をよく振る舞います。また、どちらかが食事会があるとルームメイト同伴です。イタリアでの生活の愚痴、出会った人の話、恋話までいろんな話をお互いにします。私が寝落ちするとお母さんのように起こしにやってきます。一方で、一緒に

生活していて信じられない生活習慣や価値観の違いを目の当たりにすることも多々あります。嫌に思うことは素直に言うようにして、相手の生活文化を尊重することが大事だと思いました。



ミラノ散策と郊外小旅行

垂直の森 #navigli #duomo #como #lecco #monza #aperitivo # 美術館

ミラノには 80 以上の美術館があるとされています。見るべき教会や建築、美術館が多いため、平日の授業終わりの時間を利用して、コツコツ見に行っています。現代建築と古い建物が共存するミラノは散歩するだけでいろんな発見があるので面白いです。よくフラッと途中下車して散歩をします。ちなみに、40€ の美術館博物館の年間パスというのがあって、これがあればチケット代が高い美術館も気兼ねなく見ることができます。

夜は navigli という運河の両脇を店が並ぶイタリアらしい居酒屋街によく行き、aperitivo というイタリアのハッピーアワーを食べます。こちらに来て面白い習慣を身につけました。夜ご飯

を食べたり、どこかに出かけたりする時、この人は必ずと言っていいほどそれぞれ友人をプラス一人以上連れてきます。合計の人数が 3 人だった予定が 7、8 人になっていることも少なくなく、こういう形で新しい友人を作っていきます。私も毎回誰かプラスして連れて行くようにしています。週末は、ミラノ郊外のコモ湖や Monza などの小さな街や村に行きます。電車 1 時間ほどで、湖や山に囲まれた自然豊かな場所に行けます。山と湖を見ながらカプチーノを飲むゆったりした時間は最高に気持ちがいいです。コモ湖は結婚式をあげたり、有名人が別荘地に選んだり、綺麗で静かで平和な場所です。



Green pass デモで休校

コロナ対策 # greenpass # デモ # "no green pass"



イタリアでのコロナ対策、物議を交わしているのがグリーンパスです。指定のワクチンを一回以上接種したことを証明するもので、大学、美術館にはいる時や、屋内飲食の時は、入る前に必ずグリーンパス上の 2 次元バーコードをスキャンされ、持っていない人は例外なく、入れません。ミラノ中心で散歩していると「no green pass」というデモがよく起こり、デモで休校になったりもします。ミラノに住んでいる身として、見ていて、いい面、悪い面があるなどと思います。

飲食の場においてワクチン接種済のみが食事しているので安心します。しかし一方で、様々な理由でワクチンを打ちたくない人、打てない人、中国、インドで独自のワクチンを打って来た人は、絶対に屋内飲食ができないため、グリーンパス差別がおこっています。私の周りで見ても、グリーンパス上の 2 次元バーコードの貸し借りはよく見られます。(本人確認はしないので貸し借りしてもバレない) 意味をなしていない場合も多く、個人的には形だけの制度なのかなと思う事もあります。

イタリア人ってどんな人？

一ヶ月少しが経ち、イタリアや、イタリア人の様々な面を見て、だんだんとわかってきました。日本にいたときのイメージとは若干違うと感じます。イタリア人はかなり時間にルーズです。20 分の遅れは誤差の範囲。その一方で態度や基本行動はせかせかしている印象があります。時間をキチキチしないかわりに、友達と過ごす時間にたっぷり時間をかけ、声や感情表現が大きいです。いろんな特徴から、イタリア人は、その場での感情を大事にして、感性的に行動するようで、シンプルでストレートに感情を外に出します。個人的にはわかりやすく接しやすい人たちだなと感じています。